

問 青年会を初め、女性会、老人会、PTAなど地域活動の核となり、まちづくりを支援していくのは社会教育である。現状をどう考え、どのような支援をしていくか。

教育部長 提案の通りと考えている。充実させていきたい。

問 一番住民に近い地方自治は自治会にある。住民意思を施策へ反映するあり方、自主防災組織、事務委託のあり方、自治会加入率など、自治会に対する支援は十分か。

総務部長 課題解決に取り組んでいきたい。

問 力強く町内産業を支援する必要がある。高付加価値の自然・有機栽培農業をはじめ、琉球絃や南風原花織の販路拡大、また土地利用の見直しなど、より具体的な発展方法を目指してほしいがどう考えるか。

副町長 町としての支援を検討する。

まちづくりを上向きに、 南風原町をつくるのは 社会教育だ

答 提案のとおりだと考えている

それぞれの暮らしを上向きに

問 子育て全力応援が必要だ。待機児童解消はもちろん、全ての子供たちが保育・医療・家庭環境の充実を実感できるように取り組んでほしい。現状をどう考えるか。

民生部長 制度一辺倒の部分ではなく、ケースごとに解決に向けて支援していく。

問 働きやすい、住みやすい、そして町民所得の向上を目指すべきである。企業誘致や雇用創出、指名入札の抜本見直し、社会貢献加算制度など、どう考えるか。

経済建設部長 議員の考えとおり、所得向上に向け取組んでいきたい。

問 命を守る消防救急の強化が求められる。東部消防本部の新庁舎建設、大型マイスへの対応など、多岐にわたる安心して暮らせるよう望まれる。どのように考えるか。

副町長 消防救急体制強化の必要性は認識している。



中央公民館にて開催、消防出初式の一幕

こんな質問もありました

○はえばる型観光の創出、新たな交通網など

○借金財政を改善させ、現在の状況を「見える化」を